

9TH
MANDOLIN
CONCERT

八瀬のかま風呂 空中風呂

名 泉 水 晶 閣
名 庭

御宴会
御婚礼
忘年会
新年会

に皆様の水晶閣が

心よりお待ちしております。

甲府市中央四丁目1-17

TEL (33) 3185 (代)
サイワイ

第 9 回

定期演奏会

山梨大学マンドリンクラブ

1971年11月6日(土)

県民会館大ホール

後援 山梨大学工学部学友会

協賛 山梨日日新聞社

山梨放送

◇ 御挨拶 ◇

緑のベールに包まれていた四方の山々も、色とりどりに衣替えをし、鮮烈な輝きを放っている今日この頃、本日ここに第9回定期演奏会を開催するに至りました。これらひとえに皆様方の御支援と御協力の賜と部員一同、深く感謝しております。

偉大な音楽家 モーツァルト・ビバルディー……過去あるいは現代の芸術に触れ、我がものにしてしようと懸命になり、その再現の中に現在の自分を発見した瞬間の喜び、これこそ音楽を好む者の特権でありましょう。これは単に音楽に限らず真理を追求する芸術の全てがそうであると思います。今日の殺伐とした社会の中において真の音楽を見つめ、偽りのない物を発見しようとする姿勢が必要な事でしょう。私達のサークル活動の目的の一部もここにあると考え、日頃努力して参りました。まだまだ全てに勉強不足ではありますが、多少なりとも多くの皆様との共通点を見いだすことができれば幸いです。今後とも山梨大学マンドリンクラブに暖い御支援と御理解をお願い致します。

最後に、常日頃から献身的な御指導及び御協力して下さい、飯島国男先生、比留間きぬ子先生はじめ諸先生方、先輩の方々、大学当局、学友会、並びに関係各位に対して心から御礼申し上げます。

山梨大学マンドリンクラブ

部長 赤羽巧吉

◇ 定期演奏会に寄せて ◇

東京比留間マンドリン音楽学院

比留間きぬ子

年一回八月末から行なわれる山梨大学マンドリンクラブの小室山の合宿は私の一年の中の大きな楽しみの一つである。手紙に弱い私はつねづね便りもせぬのに八月の声を聞くとはとなくクラブからの知らせを心待ちしている自分に気がつく。今年も姫路から東京に飛び次で甲府に馳せつけた。クラブとの交流は且て私の愛弟子として活躍し、今なほ音楽への情熱と意慾を燃し続けて居られる飯島国男氏あることに始まり現在に至っている。

私はこの御縁をいつまでも大切にしたいと思っている。樹木のみどりの中に広いお寺の隅々まで解放されて十日間を過すみんなの素朴にして熱心な合宿を見ているとうらやましい。きびしい練習の一日の中に三度の楽しい食事がある。男子女子の食当番さんが心こめて供してくれる献立は実に美味しい。心にジーンとくるものがある。但し余りいい気になっていると思いがけないゲテモノが現われるオソレもあるが……それもまた現実離れたお化け大会と共にこのクラブの特産物らしい。定演に向けてひたむきなみんなの練習態度を見ていると合宿は斯くありたいと、東京・関西の学生達にもいつも語り草としている。甲府から静岡への進出も地元と異なる緊張が身のため芸のためで喜ばしい一歩の前進である。

ますますクラブの健やかな発展を心から期待すると共に、本夕御来聴下さいました皆様方にも何卒此のクラブを限りない深い愛情と理解の情をもって末永く見守って上げて下さるよう希う次第である。

山梨大学マンドリンクラブ顧問

牧野洋

芸術の秋、音楽の秋……そうしてマンドリンクラブの学生にとっては定演の秋がやってきた。定期演奏会は1年間の練習の成果を発表する大切な行事である。

大学のクラブの常として、毎年毎年メンバーが入れ換わる。ベテランである4年生が抜け、代りに新人が入ってくる。つまり昨年、一昨年と比べて団員のレベルを規定する条件は変わらない。その変わらない条件のもとで昨年、一昨年よりも良い演奏をしたい。してもらいたい。そうになっているだろうか。多少の不安と多大の期待を抱きながら定期演奏会を迎えるわけである。

今年は、音楽会形式をとり、序曲、組曲、小品、協奏曲、音楽劇、小交響曲——それぞれ聞き手を楽しませてくれることであろう。

内容の豊富な演奏会になることを期待している。

祝 第九回定期演奏会

甲府市中央一丁目12番11号

株式会社

山梨セメント商会

紹 介

比留間きぬ子先生

我が国マンドリン界の最高権威者で、東京に「比留間マンドリン音楽学院」を開いておられ、一昨年から兵庫県芦屋市にも教室をもたれて関西の人々への指導にもつくされております。又一方、ラジオ、テレビ、映画音楽など非常に多方面に御活躍中です。

先生はこのマンドリンという可憐な楽器に私達が深い理解と愛情をよせるよう、常に教示されます。先生は山梨大学マンドリンクラブ常任指揮者飯島国男の師にあたり、梨大マンドリンクラブを御指導下さっております。



飯島国男

マンドリンを比留間きぬ子、ヴァイオリン及びヴァイオラを福井直弘、チェロを中島方、指揮を沖不可止に師事。

昭和23年 飯島マンドリン四重奏団結成

昭和26年 飯島弦楽四重奏団結成。

昭和30年2月 JOKG 管弦楽団設立、常任指揮者となる。

4月 NHK オーディションに合格。

10月 松竹映画「新婚白書」の音楽担当。

12月 オペラ「手古奈」上演。編曲並に指揮。

昭和31年 労音の招きに全国各地を演奏旅行。

昭和32年 山梨県全域の音楽団体を統合、横の連結機関として山梨音楽文化連盟が結成され、理事長に就任。

昭和33年 オペラ「鷹の泉」上演。編曲並に指揮。

比留間マンドリンアンサンブルの客員として、ラジオ、テレビ、レコード等に活躍していたが、現在は山梨県下のプレクトラム音楽普及並に指導に尽力している。

(日本マンドリン連盟関東支部委員 日本弦楽指導者協会会員)



御会合・パーティーなど申し受けております。
ご希望に依りテーブルマナーなど御指導
致しております。
御利用下さいませ。

営業時間 11:30 ~ 9:00

休日 毎月第2・第4月曜日

※ 皆様のカバリエとして新装オープンしました。

※ スナック「カバリエ」も御利用下さい。(セントラルボール内)

cavalier
Restau
rant **カバリエ**

山梨県甲府市中央一丁目6-6
(丸忠ビル二階)

TEL (35) 1276-7

MANDOLIN ORCHESTRA

指揮 飯島 国男

Ouverture in Re-minor..... S. Falbo, G

< 序曲 二短調 >

Suite Merinaresca..... A. Amadi

< 海の組曲 >

- | | | |
|-----|-------------------------|-----------------|
| I | La Serenata dell Naiadi | < ナイアーデのセレナーデ > |
| II | La Danza Ondine | < オンディーヌの踊り > |
| III | Canto dell Sirene | < シレーネの唄 > |
| IV | La Fuga dei Tritoni | < トリトーネのフーガ > |

MANDOLIN ENSEMBLE

指揮 田村 均

Rapsodie Tzigane..... M. Maciocchi

< ジプシー狂詩曲 >

The Jewels of Madonna..... W. Ferarri

< マドンナの宝石 >

Concerto for 2 Mandolins & Orch in G-major..... A. Vivaldi

< 2つのマンドリンのための協奏曲 >

I . Allegro II . Andante III . Allegro

Solist 山口 正雄
貞 弘 丈 佳

MANDOLIN ORCHESTRA

指揮 田村 均

音楽物語 “朱雀門,, 鈴木 静一

— 長谷 卿 絵 物語 —

Narretor 栗 田 均

MANDOLIN ORCHESTRA

指揮 飯 島 国 男

Renata..... H. Levitrano

< レ ナ ー タ >

I Mandolini a Congresso ! C. A. Bracco

< マンドリンの群れ >

I . Allegro II . Adagio III . Finale Allegro

序曲 二短調

作曲者ファルボは、マンドリン音楽における最高の作品で、マンドリン音楽誌“ILplettoro”主催の作曲コンクールに当選した曲「田園写景」「序曲二短調」組曲「スペイン」の三曲を残している。当時のマンドリン音楽界に与えた彼の新しい内容の刺激は彼を理解できない程に強く、現在の日本マンドリン音楽界はその可能性を求めて彼の作品に取り組み傾向が強くなってきた。本曲「序曲二短調」は1929年のコンクールに当選した曲で、同年ベルガモで開かれた合奏団コンクールにおいて第1部優秀団体の課題曲に選ばれた程で、演奏はかなり困難である。Aadante Sostenutoの静かな導入部は、不安さを拡大しながら終る。続いて Allegro に移り、抒情的な主題と叙事詩的な主題が交互に現われ、その2つのポリフォニーの中にクライマックスへと巻きこまれていく。かつて多くの作曲家が表わす得なかった形式をプレクトラム音楽の上で可能にした点で意義ある作品であり、又、Falbo の偉大さをも覗うことができる。

海の組曲

作曲者アマディは、1866年イタリアのロレートに生まれ、マンドリンオーケストラの多曲を「イル・プレットロ」「イル・コンチェルト」から数多く発表している。この曲は1909年「イル・プレットロ」主催の第2回作曲コンクールで第1位に選ばれた（このとき第2位は我々が第8回定期演奏会で演奏した“メリアの平原に立ちて”である。）4楽章よりなる組曲で、彼の代表作であるばかりでなく近代マンドリン合奏曲における代表作品といえます。彼の作品は一貫してイタリアの風土のもつ明快さと円満なロマンティシズムに包まれているが、とりわけこの曲は、施律の美しさ、4楽器結合の妙味、音色に対するすぐれた感覚的対比配置などマンドリン合奏における見事な独創性を発揮して芸術的な完成をみせている。

地中海の伝説に取材し、4人の妖精（ナイアーディ・オンディーヌ・シレーネ・トリトーネ）に標題をとり、海のロマンスを巧みに描写している。

第1楽章 ナイアーデのセレナーデ

冒頭をマンドラが魅惑的なレガートで波の表情を表わします。海の秋、海的美を掌握するナイアーデが海上を所狭しと馳けまわっています。夜になりナイアーデは去っていきます。海は静かです。

第2楽章 オンディーヌの踊り

波の精オンディーヌの踊る様子を3/8拍子のマズルカのリズムで表わしています。妖艶なその踊りは魅惑と夢幻に満ちています。

第3楽章 シレーネの唄

海行く人々を迷わせる美しい人魚シレーネの唄をマンドラが奏でます。ふりかかる危機も知らないで、人々は安らかな眠りに陥るのです。

第4楽章 トリトーネのフーガ

船は怒濤にもまれ、今や危機に瀕しています。半人半魚の海神トリトーネは、怒濤を鎮め船を救おうと、貝笛を吹きながら馳けまわっています。

アートコーヒー

喫茶室

甲府県庁前昇仙堂ビル二階 TEL (33) 7304

ジプシー狂詩曲

M. マチョッキはイタリアに生まれ、フランスに帰化した作曲家で、マンドリンのための多くの作曲をしており大小数百の作曲と、編曲ものがある。その濫作は作品の価値を低下させ、多くは通俗的なために非難を受ける向きもあるが、いずれも親しみやすい作品が多く、この曲にはジプシーのもち味をもつ黒い瞳の旋律が現われる。なおこの曲は比留間きぬ子先生からこの演奏会のためにいただいた曲である。

マドンナの宝石

ヴォルフ・フェラーリはドイツ人の父とイタリア人の母をもつ作曲家で、ドイツ風の作風にイタリア風の美しいメロディーをそなえた独特の音楽を書き残した。

この曲は歌劇「マドンナの宝石」の第2幕の前に演奏される間奏曲第1番で、静かなしみじみとした味わいを持ち、たくましい男をしたう女心のやるせない気持ちを描いた美しい曲である。

2つのマンドリンのための協奏曲

アントニオ・ビバルディは尽きることのない想像力をもって音楽的感動とともに楽器の響きや色合いの新しい手法を絶えず探究し続け、演奏技法に工夫を加えたことは彼の偉大さを物語っている。

この曲は三楽章形式のバロック音楽の典型的なもので、速い楽章でのきびきびしたマンドリンの特性を生かした曲想と緩徐楽章での抒情的な歌うような曲想は対照的で繊細なマンドリンのイタリア風な健康的で甘美な音色は明るい陽光に照らされたような淡い陶酔にさそってくれます。

第1楽章 Allegro

第2楽章 Andante

第3楽章 Allegro

このプログラムご持参の方にカクテル一杯サービスいたします。

Wine & Music 毎日ピアノトリオ演奏中

営業時間 PM 5.30 - 12.00

甲府カクテルコーナー 中央一丁目 33-5185



旅
館

御宴会・御婚礼

喜

久

竹

設 駐
備 車
あ り
の 場

日観連会員

甲府市中央二丁目5-27

TEL 甲府 (0552) 35-6321 (代表)

朱雀門 —長谷雄卿草紙より—

作曲家鈴木静一は今やマンドリン界に於ける第1人者であり、情緒豊かな標題音楽による楽想は数多くの人々に好まれ、コンサートによくとり上げられている。

この曲は“人魚”“氷姫”などと同様、ナレーションを含む音楽物語である。平安の京と呼ばれた時代、朱雀大路は皇都のメインストリートであり、それは皇居の大手に立つ朱雀門に始まり、南下して京果てる所に聳える羅生門までを謂う。舞台となる朱雀門は名のみで、所在位置も明らかでないが、京で最大の華麗さを誇る構門であったにちがいない。この物語はその朱雀門にまつわる怪奇な鬼の話であるが絵巻には文字は使われず、すべて単純な絵画だけで台本その他はすべて想像である。

曲は九つの部分よりなりそれぞれ副題が附けられているが、全般に京に残る土俗音楽や雅楽のニュアンスが取り入れられている。とりわけ、管楽器の雅楽的な響き、1st マンドリン、フルート等が奏でる優雅な旋律は京都の詩情を感じさせ、ナレーションのかもしれない古典的な雰囲気と不思議な程マッチしている。

— シナリオ —

平安京 山は紫に水清く平安の京は美しき都として栄えていた。花の都も西太路を境に太秦へかけては庶民の集落が続く、その街は物売りの呼び声に日暮れ前のひと時混雑する。その中を皇居に仕える若き公卿長谷雄は二人の伴人をつれ、おうらかに歩いていた。

—中略— 妙心寺をぬけ、北野から北太路、南に下がりひと昔前戦火に焼かれ、今は住む人も無い皇居跡に近づくにつれ壮麗な楼門が近づく。それは沈む陽に朱色に燃え、その下から始まる朱雀大路を踏まえて立つ朱雀門である。

怪しい男 夕映の空に黒々と聳える朱雀門をくぐろうとした時、長谷雄は見上げるばかりの大男に呼びとめられた。

鬼「宮仕えの公卿と見受けるが吾と双六の手合わせをされぬか？」

長谷雄「双六？ 手合せしまでもないがお身は何人である？」

鬼「吾は京の片ほとりに住む名もない者であるが、双六にかけては今日まで誰にも負けたことがない。長谷の卿は宮中において、並ぶ者なき名手と聞き及び手合せを望み申した。しかしただの手合せでは物足りぬ。賭双六を所望する。」

長谷雄「何者かは知らぬが挑まれては後えは退けぬ。望みにまかせ手合せするが賭ごとは好まぬ。」

鬼「名もなき下人との賭ごとはならぬと言われるのか？ だが吾は大宮人からの賭物は求めぬ。もしも卿が吾に勝てばこちらから進上するまで。取る取らぬはそちらの気まかせ。」

長谷雄「よし望みにまかせ……が……手合せはいつどこです？」

鬼「どこでもよいが昔は宮廷の大手を守ったこの朱雀門。」

晩鐘 心配する伴人を先に帰し、長谷雄は怪しい男に導かれ楼上に上った。そして怪しい男の言葉に云い知れぬ不安を覚え、男をふり返った。打ち消すように男は手を打ち……。

鬼「渚、燈火を運べ。」

渚 長谷雄は薄闇の中から紙燭を捧げ静かに現われた女の美しさに目を見はった。—中略— <欲しい！ なんとしても！> 心は燃えていた。二人は双六盤を挟み向い合った。

双六と鬼 男の打込みは意外と鋭かった。ひきかえ長谷雄はさえない。<これではならぬ！> 必死！ 美女の面影をふり払いのしかかる男の功勢を危うくかわし長谷雄はようやく立ち直る。その頃から長谷雄は遠雷の轟きとも地震の地鳴りともとれる鳴動を聞くともなく感じていた。—中略—

長谷雄「どうじゃ、これまでと思うが！」

怪しい男の呻くのにつれ、鳴動はいよいよよかまり巨大な朱雀門は凄まじく揺れる。そして長谷雄は目前にはっきりと鬼神の姿を認め反った意外な事に怪しい男は約束どおり「渚」と呼ばれる比類なき美女を長谷雄に与えた。ただし100日の間は特別の関係をもたないことを条件に。

夏の夜 こうして雅びた青年公卿と正体の明らかでない不思議な美女との生活が始まった。渚は何事にも長谷雄の意志に背かなかった。その柔順がふと長谷雄に禁じられた欲望を起させることが重なる。もどかしい幾日幾夜が流れる。—中略—

雷雨と渚の消滅 真暗な月の無い夜空にさっきから遠い稲妻がきらめいていたが不意に強い稲妻が比叡と如意岳の山影を暗黒の中に浮き彫りにする。「アッ！」渚は長谷雄の膝にすがる！ それが長谷雄に禁断を破らせる！ 長谷雄はどうとう怪しい男との約束を破る。80日目だった。あとたった20日……。凄まじい雷雨が地上を襲う。—中略— 我が目を疑う長谷雄の目前でたおやかな渚の五体が旭の前の薄ら氷よりたよりなく爪先から溶け流れていく。色も香も無い美しいひと筋の水となって……。

渚 想像もしなかった終局のむごさに立ちすくむ長谷雄の耳に聞きおぼえの高笑いも虚空から落ちて来た。

鬼「お前は約束を破った。渚は吾が沢山の死人の中からその佳いところだけを撰りすぐって作り上げた仮身の女なのだ。あと20日待てばあれは現身の人間として永遠の生命を得られたのにたった20日の辛棒ができず、あたら水にして流してしまったのだ。自業自得よ、うつけが。」

美しかった面影、深い愛情のこめられたあの静かな声、その渚は今はいない。<渚！> 長谷雄は地に伏して泣く……。雷雨はいつかやみ軒端に落ちる雨だれも絶々。空しく消え去った渚への慕情と共にたえがたい寂寥がいちどに襲う。長谷雄は雨あがりの暗い街にさまよい出た。どこをどう歩いたかも知らず暗黒の中に立ちふさがり大いなる影を見た。<朱雀門> であった。

終曲

レナータ

この作曲家H・ラビトラーノはナポリ湾頭の美しいイシア島に19世紀の終りに生まれた。その後、彼はナポリの音楽学校で作曲法を修得し、ナポリからアルジェリアの地中海に沿った美しいポース市に定住した。彼はマンドリン音楽にすぐれた才能を示し、この曲は「ローラ」・「雪」とともに、彼の三大作と言われるもので、まず4/4拍子のAllegro・Vivoで始まる。高音部メロディーの高調とともに、低音部和音が強く響き、ギター、マンドリンのカデンツァに続いて、次の3/4拍子Andanteに入る。前後の速い部分と美しい対称をなし、やさしく優美なメロデーが流れる。そして再びAllegroに移り、マンドリンのダブルノートが印象的で、情熱的な南国の息吹く躍動が一段と盛りあがります。更にPiu・Allegroとなる豪放なフィナーレを飾る。この曲はマンドリン音楽の最高水準を行くものとして広く愛用され、今日あらゆる所で演奏されている。

マンドリンの群れ

小交響曲と名づけられたこの曲は、19世紀末にジェノバのマンドリン合奏団の指揮をとっていたブラッコが、1901年に作曲、翌1902年に「イル・マンドリーノ」誌主催の作曲コンクールで第1位となり金牌を送られた。原曲はマンドリン2部、マンドラテノール、リュート、ギターの5部で書かれ、次の3つの楽章からなっている。

- 第1楽章 Allegro** 冒頭の短い序奏に続き、全曲を支配する動機が姿を見せ、やがて第1主題として確定される。この後で、これを対称的な簡素の中にも情熱をこめた第2主題が現われるが、一度もり上ったものの、第1主題にひきつがれ、静かにこの楽章を終る。
- 第2楽章 Adagio** 10小節間の序奏にひきつぎ第1主題の展開された姿が再現されます。ここではプレクトラム楽器のカンターピレと、スタッカートの対比が十分に生かされ、限りない美しさに満ちあふれた楽章である。
- 第3楽章 Finale Allegro** 第1主題、第2主題が変奏曲風に現われる。そして、第1主題は段々と高調し、感動的なGrandiosoに入る全パート最強奏によるこの部分は、この曲の絶頂を形づくり、やがてMenoに入り曲は一端ここで静まり、再び第1主題が一気にかけてぬけこの曲を終る。

近江牛肉専門の
しゃぶしゃぶ・鉄板焼
ビフテキ

深夜2時まで営業

洋食・喫茶
近江牛肉コーナー

レストラン **コンソリ**

丸の内1丁目 電話33-3135

牛・豚肉
卸・小売



甲府市中央四丁目2番
電話 (33) 2555・8003

YAMANASHI UNIV.
MANDOLIN CLUB
MEMBER

常任指揮者	飯島国男
正指揮者	田村均
副指揮者	猪早逸郎
コンサートマスター	山口正雄
部長	赤羽巧吉
副部長	後藤正樹
	藤原光江
顧問	牧野洋



◇ 部員紹介 ◇

■ Ist Mandolin

◎山口 正雄(工3)	○伊達 貞治(工3)	阿部 信彦(工4)	石井 康裕(工4)	大宮 康典(工4)
真弘 丈佳(工4)	田村 均(工3)	藤原 光江(教3)	窪田 清子(教2)	小林 英美子(教2)
後藤 正彰(工2)	布引 英夫(工2)			

■ IInd Mandolin

◎吉田 保博(工3)	○坂本 正子(教3)	石井 康裕(工4)	内藤 絹江(教4)	古屋 和美(教3)
猪早 逸郎(工2)	岩田 直行(工2)	佐野 ひろみ(教2)	田島 愛江(教2)	田副 直樹(工2)
広瀬 貴美子(教2)				

■ IIrd Mandolin

◎古屋 和美(教3)	品川 尚子(教2)	小倉 一夫(工1)	風間 恵美子(教1)	斎藤 昭子(教1)
高埜 恵子(教1)	長島 進(工1)	藤井 清孝(工1)	山本 真佐子(教1)	渡辺 孝子(教1)

■ Mandola

◎小幡 修(工3)	伊藤 みち代(教4)	増田 剛徳(工4)	須田 由美子(教3)	田村 均(工3)
谷沢 貞美(教2)	広谷 耕作(工2)	水野 博文(工2)		

■ Mando Cello

◎鈴木 時治(工3)	秋山 延義(工4)	松井 謙二(工4)	笠原 俊男(工2)
------------	-----------	-----------	-----------

■ Giutar

◎鈴木 等(工3)	安藤 恵一(工4)	内山 恵一(工4)	長田 陽子(教4)	蔵田 修治(工4)
小松 一博(工4)	新海 美津子(教4)	高尾 寛(工4)	高松 俊一(工4)	長谷川 達雄(工4)
花野 芳夫(工4)	嶺木 直人(工4)	赤羽 巧吉(工3)	大倉 芳明(工3)	中山 広美(教3)
青柳 さつき(教2)	池上 清春(工2)	小野 隆光(教2)	金丸 芳美(教2)	河野 多鶴子(教2)
神山 千鶴(教2)	藤 蒼正子(教2)	飯島 徹(工1)	市村 智子(教1)	今井 上枝(教1)
遠藤 立也(工1)	近藤 勉(工1)	志村 永子(教1)	鈴木 康仁(工1)	成島 加代子(教1)

■ Contrabass

◎山本 隆志(工3)	城口 和男(工4)	小林 誠一郎(工1)
------------	-----------	------------

■ Percussion Instrument

◎小松 一博(工4)	小倉 一夫(工1)	玉上 俊司(工1)	山本 隆(教1)
------------	-----------	-----------	----------

■ Flute

◎後藤 正樹(工3)	石井 康裕(工4)	西沢 昭(工2)	玉上 俊司(工1)	山本 隆(教1)
------------	-----------	----------	-----------	----------

■ Clarinet

長島 進(工1)

以上 79名

◎ 各パート首席奏者

○ 次席奏者

パート紹介

2nd Mandolin

ミエコ, MASAKO, ケーコ, しょうこ, タカコ, 進, かずお, KIYOTAKA, ナオユキ, 直キ, 逸郎, ヨシエ, きみこ, ヒロミ, 尚子, かずみ, マサコ, KINUE, 康裕, 保博. ざっと, こんなメンバーです。今年は, 例年になく平均年齢が, グット下回り精神年齢はグット上まわっております? ステージの中央より少し端で指揮者と同じように体をふっているのが我がパートリーダーである。ただひとこといわせてもらおうと平均年齢を上げ精神年齢を下けているのはこのパートリーダーである。

Mandola

ガヤガヤした音の中からスーッとさわやかな音が聞こえてきます。キンキラキンでもダブダブした感じでもない, ひきしまった, さわやかな音, そうマンドラの音です。通称ドラ, ドラの魅力は中年, いや中音の魅力プラス低音の魅力, ドラの入らないマンドリンオーケストラは, まさに香の抜けたビール, 1st, 2ndの良さを共有し, さらにドラ特有の味が加わって, その味わいは格別です。舞台中央の8人の真剣な顔を見てやって下さい。プレクトラム音楽に対する無限の情熱と可能性を秘めて必死にドラにしがみついています。

1st Mandolin

1stは, よく唄うパートです。いつも自力で唄って表現する為にその演奏態度も意欲的で, 演奏に夢中になると自然に体がゆれ動いてくる傾向があるようです。旋律ばかり弾いているとそれにおわれがちですが, 今年はなるべく曲を自分のものにして, 唄うように努力してきました。それでもやはりオリジナルは登りきることのできない途方もない高い山であり, 中腹まで行ってまだまだ続く道を見上げては, お互いに励し合ってきました。指揮者の送る風にゆられて, なびく稲穂のような演奏ができれば幸いです。願わくば, 今宵, 我がマンドリンが声を限りに唄わんことを。

Conductor

合奏において欠くことのできないもの, それはなんといっても指揮者です。いくらみんなの技術が最高なものでも一つにまとめるという点では一番難しく, 又やりがいのあるものです。今年は10周年を迎え技術的にも, みんなの口数の多いのも抜群なのでまとめるのに一苦労です。指揮者というものはみんなの前に立って居るので容貌も良く, 勉強も一応でき, 酒を飲ましたらクラブ一番, なにをとっても否のうちどころなし。人員2名の少ないパート, 指揮こそなくてはならない存在です。

和 装 苑 急 り 福

甲府市中央一丁目1-18

TEL (33) 7502

Wind-Instruments

夏の合宿は10日間、これを朱雀門の練習でおくるつらさ、腕の上達は大学生の頭脳に反してのろく、はたまた苦戦、それが我らマンクラの管パートである。フルートが5人、クラリネットが1人、いずれも梨大生として恥じない好感のもてる男性であろう。山本、玉上、西沢、後藤、石井、長島の面々での朱雀門、レナータなど、このたびの定演には御期待あれ！

Contra Bass

広い野原に白い小さな花が咲いていた。5つの花びらが小さくまとまった白い花。その野原には春の陽がいっぱい。子供も来てその花を摘もうとした時、その子は考えました。もし摘んでしまったらすぐ枯れてしまうでしょう。この広い野原に咲いていればこの春の陽をもっともっと楽しむことができるだろう。子供は花の命を見まもりました。

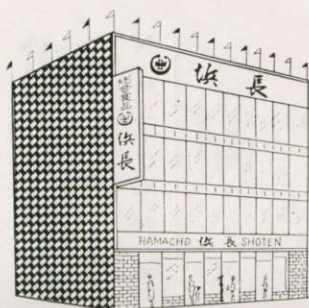
そんな思いやりのある、他のパートが枯れないようにしているのがボクたちなのです。

Mando Cello

マンドチェロ この楽器は、いわばマンドリンの親玉であります。大きさはマンドリンの3倍くらいあり、音域はマンドラよりも五度低く、その奏法技術たるや非常に難しいものです。C・G・D・Eの弦を各2本ずつ張り、これら8本の弦から溢れる音色は、ある時は甘く優しく、語りかけ、ある時は豪快に鳴り響き、又ある時は物悲しく、人の心に忍込んでいきます。この楽器をうけもつのがわれら精鋭梨大健児4人です。この4人、皆個性豊かで心の内に何物かを秘めた男たちであります。このガサツな4人の男の手にかかったマンドチェロのすばらしい音色を心ゆく迄お聞きください。

Guitar

マンドリン合奏における一服の清涼剤のような、心落ちつき、全体をやさしく包んでいるのがギターパートなのです。ガットの音色は、スチール絃では味わえない、やわらか味と深みがあるのです。ですから我々30名は音に対するきびしい追求を合言葉に日夜戦い続けているのです。今夜の演奏において、ギターの音色はきっと「あなた」を魅了して、一生の思い出として心に残すことをお約束します。今後ともギターに対する深い理解をもって我々ギターパートをよろしく願います。



総合食品・料理店用・促成野菜・一般家庭用野菜

浜長

甲府市中央一丁目18-4 電話 33 0208-9

マンドリンのふるさと、と言えば、誰しも南ヨーロッパ、イタリアのあたりを思い浮べらるう。一昨年、ヨーロッパを旅行する機会があったので、イタリアへ寄ったらマンドリンの総譜を探してこようと思っていた。ミラノで1時間買物をする時間があった。だいたい、イタリアでは、時間のあくことはあっても、買物のできる時間のあくのは珍しいのである。というのは、向うでは昼休みが2時間もあって、その間の百貨店でも小売屋でも店を閉めてしまう。ごていねいにブラインドまで降ろしてしまうのである。百貨店は午前10時に開いて正午に閉まり、また2時にあいて6時には閉ってしまう。そんな非能率な、と怒ってみても仕方がない。能率的にガチャガチャしているのは日本人だけであるらしい。そんな訳で、店は昼間しか開いていないが、こちらは遊びに行っているわけではないので、なかなか買物の機会がない。それが、ミラノでちょうどまい具合に時間があいたので、早速、商社の人に案内してもらって、ミラノで一番大きいという楽器屋に入った。日本で言えばヤマハか十字屋という感じである。入って奥の楽譜売場に行き、マンドリンオーケストラの譜はないかと聞いた。もちろん 英語である。よく通じないようなのでマンドリンアンサンブルと言い直してみた。「ああ、マンドリン」というわけで譜を出て来たが、見るとソロ用のピースである。しかも「マンドリンまたはアコーディオン」などと書いてある。言うなれば辻音楽師用だ。「違う違う、総譜が欲しいんだ。」ということで大分ねばったがソロ用しかないという。アンサンブルなどやっていたのはずっと昔のことで今はそんなものはやっていないという。そう言われてみれば、マンドリンのオリジナルの曲というのは、皆17世紀か18世紀か、いずれにしても古く、現代作曲家の作品などというのにはお目にかからない。僕はウカツにも、そういう曲ばかりやるのはマンドリンの音色のせいであると思っていたのだ。その後、ニューヨークのグリニッチビレッジという、芸術家の街と言われている所でレコード屋に入った。壁にかけたジャケットを見廻しているとマンドリンの絵が目止った。ギターなどの絵なども書いてある。これこれ、というわけで値段を見ると5枚セットで10ドルと書いてある。これは安い、ろくろく中も調べずに買ってきた。帰ってきて聞いてみると、我々の考えるようなマンドリン+ギターによるアンサンブルの演奏は5枚のうちたった片面。これはウィーンの楽団である。あとは皆ソロか色々な楽器との重奏、あるいは管弦楽をバックにした協奏曲である。ギターとバイオリンとのダブル・コンチェルトなどもある。おやおやと思った。察するに、マンドリンやギターは、昔はバイオリンやチェロと同じように扱われていたものが、今では脱落して、ほとんどソロでしか使われなくなったものようである。さて、それから、ある時、大阪に出張したついでにササヤを覗いてみて驚いた。マンドリンの総譜が棚にずらっと並べてある。つい2・3年前までは15cmか20cmしか並んでいなかったものが今ではざっと2m近くもある。パラパラとめくってみたが、とても短時間では見きれず、何か狙いを決めて探さなければ選べないほど沢山ある。そこで僕が今思っていることは、今、世界でマンドリンの総譜を一番沢山持っているのはササヤではないかということ、それに、マンドリンのふるさととはひょっとしたら日本ではないかということである。

塩山市駅前	甲府駅北口 武田一丁目	うまいものならなんでも	穴切郵便局裏 宝一丁目	田三吉町通り 相生三丁目
塩山館	北口店	山	宝店	三吉店
モシモシ 2173	モシモシ 33-1216~7	いちやまマート	モシモシ 24-5368~9	モシモシ 33-7496

オカムラ・イトーキの 書棚・物品棚	No.1に使いやすい	スチール家具と事務機		No.1に鮮明	ソニー 電子計算機
		株式会社 正直堂			
本社 甲府市中央二丁目(八日町通り) TEL (33) 9158(代表) ショールーム 本社前ゆもとビル内 吉田出張所 富士吉田市上吉田3834(金鳥居東) TEL 0555 (3) 3285					

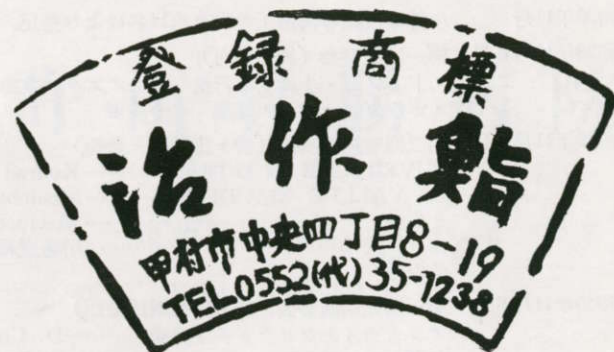
寿司と御食事の店

伊 津 美

御会合・無尽会 等御座敷を御利用下さい

TEL (22) 5 4 4 2

寿 司 ・ 割 烹



コンパの御用命は

良 心 的 な

か と や

へ どうぞ

甲 府 裁 判 所 東

TEL (35) 3351 代表

内 料 理
う 平 聖 屋 鮎
なぎ

甲府市朝日二丁目・電(22)5656

入 院 応 需

橘 田 耳 鼻 咽 喉 科

院長 橘 田 馨

副院長 橘 田 豊 雄

甲府市中央二丁目12の28 TEL (37) 3387~8

◇ 沿 革 ◇

昭和36年11月 小林伸吾氏等精密工学科有志11名により発足。
 昭和38年11月6日 第一回演奏会（於・学内）
 ・ドミノ ・小兵士の行進 ・フォスター歌曲集
 ・ボルガマーチ ・郷愁 その他
 昭和39年11月8日 第二回定期演奏会（於・山梨県民会館）
 OUVERTURE IN D-DUR Konrad Wölki
 LA VALLEE MAUDITE Menichetti
 ミレーナ Maciocchi
 山 狭 川崎貞利
 その他
 昭和40年11月6日 第三回定期演奏会（於・山梨県民会館）
 オラッチオとクリラッチオ兄弟 D. Cimarosa
 ト調のシンフォニー G. Domenico
 序曲レナータ Levitorano
 小交響曲 マンドリンの群れ C. A. Bracco
 その他
 昭和41年5月28日 県民会館10年祭り賛助出演
 オラッチオとクリラッチオ兄弟 D. Cimarosa
 山 獄 詩 M. S. Salvetti
 ミレーナ Maciocchi
 序曲レナータ Lavitorano
 その他
 昭和41年11月12日 第四回定期演奏会（於・山梨県民会館）
 バグダッドの大守 F. A. Boieldieu
 組曲 山の印象 鈴木静一
 ハンガリア舞曲 第5番、第6番 Joh. Brahms
 その他
 昭和42年11月5日 諏訪特別演奏会（於・北沢会館）
 昭和42年11月11日 第五回定期演奏会（於・山梨県民会館）
 OUVERTURE IN A-DUR Konrad Wölki
 ローマ・トリノ D. Giovanni
 小交響曲 マンドリンの群れ C. A. Bracco
 その他

昭和43年11月9日 第六回定期演奏会（於・山梨県民会館）
 Eine Kleine Nachtmusik W. A. Mozart
 Bizet Klanken arr by J. Linard
 Loreley Paraphrase S. Ranieri
 序曲 水車小屋の乙女たち M. Maciocchi
 地獄谷の一夜 F. Jullian
 序曲 レナータ H. Levitrano
 その他
 昭和44年6月22日 都留演奏会（於・都留市民会館）
 OUVERTURE IN A-DUR Konrad Wölki
 漁村の一夜 中野二郎
 序曲レナータ H. Levitrano
 その他
 昭和44年11月8日 第七回定期演奏会（於・山梨県民会館）
 過去への尊敬 L. M. Vogt
 悪魔の囁き M. Maciocchi
 OUVERTURE IN H-MOLL K. Wölki
 組曲 人 魚 鈴木静一
 その他
 昭和45年10月24日 静岡演奏会（於・静岡県民会館）
 昭和45年11月7日 第八回定期演奏会（於・山梨県民会館）
 バグダッドの大守 序曲 F. A. Boieldieu
 ベルシアの市場にて A. W. Ketelbey
 アイネ・クライネ・ナハトムジーク
 W. A. Mozart
 ローラ序曲 H. Lavitrano
 夜の印象 D. DE. Giovanni
 メリアの平原にて G. Manento
 その他
 昭和46年10月30日 静岡演奏会（於・静岡県民会館）



入院 応 需

古 屋 眼 科 医 院

甲府市朝日二丁目16の20（朝日町通り）

TEL (22) 3 3 0 5

外科・整形外科・胃腸科
レントゲン科・肛門科

箭 本 外 科

院長 箭 本 巖

甲府市北口三丁目1-1 (YBS東)

TEL (35) 3532~3

許 山 胃 腸 病 院

甲府市中央一丁目12-6

TEL 33-5107(代)

おいしく安く
うなぎの栄養で健康を

うなぎの店 「愛」

うなぎ重 350円

1級正1合 120円

ビール(大) 170円

お二階も

御利用下さい

甲府市オリオン街

TEL (33) 7316

世界の時計 セイコー

神 田 時 計 店

甲府市中央四丁目柳町通
(中銀柳町支店前)

TEL (33) 4283

(本店)

甲府駅
山梨バス
平和通り
講堂

カラーテレビ・クーラー

(株)中込電気商会

県下有数の総合電化の店
各社メーカー電化製品全般
県下諸官庁共済組合指定店

電器具店
(下石田店)

至千秋橋
なごみセルフサービス
下石田店
バス停
至石田
至花輪
四ツ角

☎甲 府(0552)
24-5431(代)

☎甲 府(0552)
26-3355(代)

◀◀ クラブの近況 ▶▶

1970年12月13日 部内発表会

12月19日 クリスマス・忘年コンパ

1971年1月15日 成人式アトラクションに出演（東八代郡境川村）

1月16日 新春もちつき大会

1月17日 スケート大会（富士急ハイランド）

3月5日 4年生追出しコンパ

4月4日～9日 春季合宿（河口湖 常在寺）

7日 部内発表会

4月17日 オリエンテーション

4月24日 新入生歓迎演奏会（工業会館ホール）

5月29日～30日 山梨大学大学祭 音楽喫茶「あざみ」開催

6月5日 部内発表会

6月24日 山梨大学チャリティー音楽会

7月4日 山梨県マンドリンクラブ連盟合同発表会

7月10日～12日 一年生強化合宿（山梨市働く婦人の家）

8月31日～9月9日 夏季合宿（小室山 妙法寺）

9月4日 部内発表会

10月10日～13日 秋季強化合宿（山中湖丸石荘）

10月30日 静岡演奏会（静岡県民会館ホール）

11月6日 第9回定期演奏会



florist

ORION FLOWER

KOFU-ORIONDORI-KADO

TEL (33) 9934 (24) 3646

常磐ホテル

甲府市湯村温泉 TEL 甲府 (22) 1301 代表

石和温泉 トキワホテル TEL いざわ 4175
4176

下部温泉 常磐別館 TEL (しもべ) 50番

寝具製造 貸布団

大関わた有限公司

甲府市城東三丁目16-16 TEL (35) 6288代

編集後記



定期演奏会を間近にひかえ、クラブ員の熱意にもなみなみならぬものがうかがわれる。その中でパンフも例年にないようなものをと……張り切ってみたが、なかなかよい案がうかばず、例年と余りかわりばえのしないものにおちついてしまった。それに静岡演奏会のパンフも兼ねたので、定演のパンフの作成がおくれ、カレンダーとにらめっこする日が続いた。係一同、いろいろと努力はしたつもりではあるが、まだまだ不備な点もあり、こうした方がよかったのではないかと反省することばかりである。お気づきの点やいたらない所がありましたらご批判願います。

最後になりましたが、パンフ作成にあたり御協力して下さった諸先生方、広告店主の皆様、印刷会社の皆様に心から感謝いたします。

表紙デザイン……………吉田保博

編集・製作……………パンフレット係

鈴木 等

須田 由美子

窪田 清子

田島 愛江

飯島 徹子

市村 智子

今井 上枝子

志村 永子

鈴木 康仁

●現代人の常識
ギターをひこう

◆ゼンオンギター

◆ZG (クラシック)
◆ZGG (ガット)
◆F (フォーク)

◆ゼンオン
手工品ガット
ギター

◆中手 原 隆 監製
◆黒沢 三郎 監製

NHK教育テレビ
「ギター教室」
阿部保夫先生監製

日本人の手に合ったギター
阿部ガットギター-65・63

AG. 6F 6,000円

AG. 65・63A 9,000円

AG. 65・63K 17,000円

送料は全額 株式会社 全音 東京都新宿区東五軒町25
楽器も全音 東京・大阪・福岡・札幌

華麗な音の手工芸品

よいピアノが生まれる秘密は、
ひとつひとつの工程にあります。

デアパソン

① 浜楽商事株式会社東京営業所
東京都渋谷区代々木1-36 (全理池ビル6F)

電話 (379) 1371

本社 東京都渋谷区代々木200 / TEL (54) 2131 代表
営業所 東京・大阪・名古屋・福岡・札幌 山梨代理店 飯島楽器



- デアパソンピアノ
- トリオステレオ
- アカイテープレコーダー
- アイワカセット

【レコード&テープ】

県下唯一
全レーベル特約店

レコード
テープ
委託製作

〜◇手工品ギター・マンドリン◇〜

音のデパート

イイジマ楽器

甲府オリオン通り TEL (33) 3345